

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立加茂農林高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年6月28日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 加茂農林高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	山田 和浩	岐阜県農業大学校長
副会長	生駒 一成	岐阜県指導農業士
委員	長谷川洋昭	ボランティア団体部会長
	渡辺 祥二	農業法人代表
	酒向 光世	医療法人管理職(欠席)
	武田 由美	美濃加茂市教育委員
	井戸 肇	同窓会長(欠席)
	高木 史恵	P T A会長
学校側	大塚 浩昭	校長
	佐藤 知子	事務部長
	金本 淳	教頭
	斉藤 寧子	教務主任
	村井 陽一	生徒指導主事
	森本 達雄	進路指導主事
	佐藤 一喜	農場長

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 教育指導の重点並びに学校経営計画及びスクール・ポリシーについて

- 意見1: 本校の卒業生として「本校に入学してよかった」と思っている生徒が多いことがうれしかった。
- 意見2: 「企業との連携」と「学び」のバランスが大切である。時代に合った取組が必要ではないか。
- 意見3: 世の中の情勢も踏まえて、飼料・肥料の価格が上がる中、どうやって費用をまかなうのか、就農してやっていけるのかなど、地域と民間企業で学校をフォローしていく必要がある。
- 意見4: 久しぶりに学校内の様子を見ることができた。明るい挨拶があり、いきいきとした生徒の姿があった。
- 意見5: 教室の狭さが気になったが、よく整頓されていた。
- 意見6: スクール・ポリシーを策定したことにより、学校の運営方針について昨年と比較して変化した部分はあるか。

⇒学力の伸長について、成績上位層の伸び悩みを解消するための取組を進めていく。  
進学意識の高揚を図り、国公立大学進学を目指した進学指導を組織的に展開する。  
意見7：学校の運営方針について十分に理解できた。

## (2) 各分掌の重点目標と達成に向けた具体的取組と方策について

- 意見1：進学先について農業との関連率はどれくらいなのか。  
⇒昨年度は42%が関連。58%が非関連である。
- 意見2：学科ごとにクラス編成がなされ、クラスごとに学ぶのが基本だとは思いますが、クラスの枠を超えて学ぶ機会はないのか。  
⇒体育や、3年生の選択科目でクラスを超えた編成になる科目がある。
- 意見3：ぜひコロナ禍の中でもできる活動を行ってほしい。
- 意見4：在学中に進路変更する生徒は多いのか。  
⇒通信制高校の増加などで進路選択の幅が広がり、自分に合った学びを求めて転学する生徒がいる。  
⇒コロナ禍において本校に限らず欠席の多い生徒が多くなっている。
- 意見5：インターンシップなど、企業としても将来の担い手を育成するための学びの場を積極的に提供したい。
- 意見6：将来の担い手を育成するため、女性アドバイザーによる就農支援もできる。
- 意見7：生徒には農業に携わる喜びの部分だけでなく、厳しさについても学んでほしい。

## 6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員から本校の学校運営方針について承認が得られた。
- ・本校の取組について励ましの言葉や前向きな意見が得られた。
- ・校内見学の時間を設定し、本校の学習環境や、生徒が授業・実習等に取り組む様子を見たいうえで協議することができた。
- ・コロナウイルス感染症の状況を見ながらではあるが、できるだけ本協議会を対面で開催したいと考えている。次回以降も委員が生徒の学ぶ姿を見られる機会を設定し、本校の教育活動について助言を得る機会とする。
- ・9月に予定している次回の学校運営協議会では、今後実施する生徒・保護者を対象とした学校評価アンケートの結果を提示し、委員からの助言や提言を受け、学校運営のあり方を模索しつつ、修正していく。
- ・本協議会は、引き続き学校が抱える課題を地域と共有し、委員の視点から助言を得る場としたい。